

ファミサポ通信



2018.10
Vol. 18



前回の交流会は、メイン講師に管理栄養士の新藤祐子さんをお迎えし、保育士さんも交え、絵本「ちいさなたまねぎさん」の読み聞かせや、たまねぎの栄養価も含めた奥深いたまねぎワールド?!の魅力に触れました。

また、たまねぎのコンフィを使ったオープンサンドをみんなで作り、手作りのジンジャエールも飲みながら親子で楽しいひとときを過ごしました。



講習会開催のお知らせ

乳幼児の緊急時の対応プログラム

日時 平成30年11月16日（金） 13時30分～15時
【事前の申し込みをお願いします】
場所 コアラハウス（美祢図書館近く）
講師 日本赤十字社山口県支部

ファミサポの活動や日々の子育てのなかで、子どもが病気をしたり、ケガをした時に落ち着いて行動ができますか？事前の知識や体験が、もしもの時に役立ちます。

ぜひ講習にご参加ください。（託児については、ご相談ください）

☆誤飲防止と気道異物除去

☆家庭内での事故防止

☆家庭内での子どもの看病の仕方（けいれん・下痢・腹痛・せきなど）

天候の悪化が予想されるときへの援助活動について

ここ近年、異常気象による「〇〇年に一度の」という形容詞がつく集中豪雨に見舞われている日本列島...集中豪雨は台風と比べ予報が難しいことから、保育所や学校の事前の休校措置がとられにくいようです。山口県でも今夏、東部を中心に河川の氾濫と土砂崩れがおきましたが、その時の様子を光市、下松市、下関市のファミサポアドバイザーから伺う機会がありました。被害の起きた7月6日（金）は午前より雨脚がどんどん強くなり、昼頃から災害発生に備え市の職員の動きが慌ただしくなり、保育所から保護者へ早めの迎えの要請があり...と天候の悪化に伴い各施設の対応が刻々と進んでいったそうです。三市のファミサポでも当日、予定されていた援助活動（習い事への送迎や保育所への迎えなど）について、時間を早めて子どもさんを迎えに行ったり、依頼会員と相談して活動を中止にしたりという対応をされたそうです。

美祢市でも災害がおきないことを祈るのみですが、夏場の集中豪雨だけでなく、これから冬に向かい積雪や凍結が予想されることもあると思います。安全な援助活動を行うため、依頼会員さんのご都合（仕事を早く切り上げることができるかなど）をファミサポから問い合わせさせていただくことがあります。どうぞ皆さまのご協力をお願いします。

講習会・交流会へのお申し込み・お問い合わせは

ファミリーサポートセンターみね

電話 0837-52-5222